

令和 6 年度

事業報告書

自令和 6 年 4 月 1 日

至令和 7 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本健康スポーツ連盟

令和 6 年度事業報告書

目 次

事 業 報 告

1.事業の成果	1
2.事業活動	4
[1] 健康増進施設調査事業	4-8
[2] 人材育成講習会事業	8-10
[3] メディカルフィットネス研究会事業	10-15

総 務 報 告

1.評議員会	16
2.評議員の状況	16
3.理事会	17
4.役員の状況	17-18
5.監事監査	18
6.職員の状況	18

(別表 1、別表 2)

1.令和 6 年度 健康増進施設の新規および更新施設リスト	19-21
2.令和 6 年度 指定運動療法施設の指定施設リスト	22-23

事業報告

1. 事業の成果

1-1 事業の経過及びその成果

当年度は物価上昇の長期化や人手不足の深刻化により、経済回復の歩みには依然として慎重さが求められる状況が続きました。また、自然災害の頻発や医療・介護分野の構造的課題など、地域社会の持続性にも一層の対応が求められております。

このような環境下において、当財団は「国民への健康スポーツの普及振興」を基本理念とし、地域に根ざした公益事業の推進とその収益基盤の安定化に努めてまいりました。

令和4年度から認定基準が緩和された健康増進施設認定基準の認知普及のための健康増進施設セミナーや学術大会などに力を注ぎました。また各学会のシンポジウムに積極的に参加協力し健康増進施設、メディカルフィットネスの普及発展に努めました。さらにメディカルフィットネス研究会事業では前年に引き続きフォーラムを開催いたしました。

この結果、当年度の業績につきましては、経常収益では前年比で 6,293 千円減の 41,060 千円を計上、経常費用は前年比で 6,273 千円減の 41,015 千円となりました。

最終的に当期経常増減額は 45 千円の黒字となりました。

1-2 事業の総括と今後対処すべき課題

当年度は、従来からの継続事業（健康スポーツ指導者養成事業・健康増進施設調査事業・保健指導事業、メディカルフィットネス研究会事業）の深耕、経常収益の獲得に努めてまいりました。

メディカルフィットネス研究会事業では協力企業と連携した「メディカルフィットネス・フォーラム」を前年度に続き開催を致しました。

引き続き、経常収益の拡大を実現するとともに、更に徹底した経常費用の低減と効率化を図り、当期経常増減額の改善に注力致します。

今後とも健康スポーツに関する調査・研究、指導者の養成、増進施設やメディカルフィットネスの推進、また情報の収集・提供等を通じ、健康スポーツの普及並びに振興を図り、豊かな国民生活の実現に寄与する所存でございます。

2. 事業活動

[1] 健康増進施設調査事業 [公益目的事業 1 定款第 4 条第 3 号]

(1) 健康増進施設の認定制度に基づく調査事業を実施した

- ① 実施時期：令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
- ② 新規認定数は 40 施設（前年度 29 施設）を実施した。（P 19-P20 参照）
- ③ 更新認定数は 15 施設（前年度 7 施設）を実施した。（P21 参照）
- ④ 指定運動療法施設 23 施設（前年度 30 施設）を実施した。（P 22-P23 参照）

(2) 健康増進施設セミナー 北海道大会 2024

当財団は、2024 年 10 月 19 日（土）に北海道札幌市にて、「健康増進施設セミナー 北海道大会 2024」を開催した。本セミナーは、厚生労働大臣認定 健康増進施設・指定運動療法施設制度の意義と活用について、医療連携をテーマに多角的に考察・共有することを目的に実施した。

厚生労働省による制度整備、および床面積や控除要件の見直しを背景に、制度の更なる普及と運動療法の質的向上を図るべく、医師・健康スポーツ医・運動指導者等が登壇し、最新の知見と施設事例の紹介が行われた。

参加者は医療機関・運動施設関係者を中心に北海道内外から多数集まり、会場は終日活気に包まれた。

開催概要

日程：2024 年 10 月 19 日（土）10:00～16:40

会場：北翔大学 札幌円山キャンパス（北海道札幌市中央区）

参加対象者：医師、健康運動指導士、健康スポーツ医、施設職員、行政関係者

主催：公益財団法人日本健康スポーツ連盟

共催：札幌市健康スポーツ医協議会

認定単位：健康運動指導士および実践指導者 講義 2.5 単位、日本医師会認定制度
再研修会

プログラム構成および登壇者

開会挨拶

水嶋 章陽（公益財団法人日本健康スポーツ連盟 理事長）

特別講演

「健康増進施設認定制度の現在と未来」

澤田 亨（早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授）

教育講演Ⅰ

「健康スポーツ医から見た制度の現況と課題」

佐久間 一郎（北光記念クリニック 所長／札幌市健康スポーツ医協議会 会長）

事例セミナーⅠ

「循環器病予防のための健康増進施設のあり方」

福島 新（あさぶハート・心リハクリニック 理事長）

事例セミナーⅡ

「医療と連携した運動施設の役割」

五十嵐 美生（美田内科循環器科クリニック フィットプラス 主任）

教育講演Ⅱ

「医療と運動の連携：科学・エビデンスと現状」

沖田 孝一（北翔大学 教授）

事例セミナーⅢ

「目指すべきメディカルフィットネスとは」

野呂 昇平（株式会社 NoLaBo／エターナルフィット 代表取締役）

事例セミナーⅣ

「運動療法処方箋の活用と指定医療機関との連携」

佐伯 輝明（株式会社 SHARE 代表取締役）

パネルディスカッション

講師・事例施設代表者・運動指導者による討論

ファシリテーター：日本健康スポーツ連盟役職員

総括

本大会は、制度運用の実務に関わる現場の声と、医療・運動それぞれの視点を融合した希少な機会となり、参加者からは多数の質疑や活発な意見交換が行われた。

北海道における制度普及のきっかけとなったことに加え、他地域にも波及可能な先進的事例が多数紹介された点で、大変有意義な成果を得ることができた。

(3) 第3回厚生労働大臣認定 健康増進施設 学術大会を開催した

当財団は、2025年3月20日（木・祝）に早稲田大学大隈記念講堂にて「第3回 厚生労働大臣認定 健康増進施設 学術大会」を開催した。

本大会は、厚生労働大臣認定 健康増進施設制度および指定運動療法施設制度の理解促進と、制度活用による地域における健康づくりの推進を目的に開催した。

開催概要

- ・開催日：3月20日
- ・開催場所：早稲田大学 大隈記念講堂小講堂
- ・参加者：合計200名

当日は、認定施設関係者、医療・運動指導専門職、企業関係者、学生など、全国より約200名が参加した。参加者構成は以下のとおり。

- ・一般参加者：108名（53%）
- ・健康増進施設・指定運動療法施設関係者：91名（45%）
- ・学生：4名（2%）

今年度は、特に認定施設からの参加比率が高く、制度の浸透が進んでいることに加え、今後の制度の活用や地域との連携強化に対する関心が高まっていることが確認された。

基調講演

「健康寿命延伸に向けた厚生労働省における身体活動・運動分野の取組」

講師：山手 智志（厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課 課長補佐）

座長：宮地 元彦（早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授）

教育講演Ⅰ

「標準的な運動プログラムを踏まえた身体活動・運動を安全に行うためのポイント：内科的疾患」

講師：佐藤 真治（帝京大学 医療技術学部 教授）

座長：小熊 祐子（慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター 教授）

教育講演Ⅱ

「健康増進施設における全身持久力（最高酸素摂取量）の活用」

講師：宮地 元彦（早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授）

座長：澤田 亨（早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授）

教育講演Ⅲ

「標準的な運動プログラムを踏まえた身体活動・運動を安全に行うためのポイント：整形外科的疾患」

講師：原藤 健吾（慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター 専任講師）

座長：小熊 祐子（同上）

シンポジウムⅠ：指定運動療法施設の取り組み ～地域連携事業への広がり～

- ① 自治体連携と医療連携そして地域連携によるメディカルフィットネス施設の運営事例

金澤 佑亮（株式会社ドリームゲート ウェルベース矢巾 店長）

今野 陽介（ウェルベース村山 店長）

② 指定運動療法施設と医療機関とのスムーズな連携

江尻 純子（株式会社岡山スポーツ会館 専務取締役／医師／健康運動指導士）

シンポジウムⅡ：指定運動療法施設の取り組み～地域連携事業への広がり～

① 指定運動療法施設としての活用と医療連携を含めた地域包括ケアこそ、
我々クラブの使命

小森 崇稔（ドルフィン株式会社 代表取締役）

② 想いをつなぎ地域の健康増進へ～指定運動療法施設と医療機関の連携～

北園 高嶺（医療法人清仁会 シミズ病院グループ 係長）

座長：山内 敬太（株式会社 鈴良 スポーツクラブセイシン 統括課長）

司会：田中 尚子（公益財団法人日本健康スポーツ連盟 事務局長）

健康増進施設 貢献施設表彰

株式会社ザ・スポーツコネクション 代表取締役 除野 健男 様

スポーツクラブセイシン クラブ統括課長 山内 敬太 様

フィットネスクラブ ピノス洛西口 店長 前田 貴司 様

今回の大会では、参加者約 200 名のうち約 45%が認定施設関係者であったことから、制度そのものへの関心が深化し、現場実務に即したテーマが求められている現状が浮き彫りとなった。

特に、今後制度をどう活かしていくか、地域との連携をいかに強化するかという視点が参加者間で共有され、「制度の定着から、実際に現場で活用し地域に広げていく段階」に入ったことが確認された。

基調講演では厚生労働省の取り組みが紹介され、制度の方向性と政策的背景が明確に示されたことで、現場での解釈と実践に直結する重要な指針となった。加えて、内科・整形外科疾患をテーマにした教育講演、実践例を交えたシンポジウム、パネルディスカッションなど、多角的な切り口からの情報提供が行われ、参加者からは「制度と医療、運動の融合に関する理解が深まった」との声が多く寄せられた。

また、昨年度に引き続き貢献施設への表彰も行われ、優良事例の顕彰が制度利用促進へのインセンティブとなることが示された。

また、学術大会終了後の懇親会（参加者約 100 名）では、講師と参加者間での情報交換や、施設間の交流の場として大変有意義な機会となった。

健康寿命の延伸および地域包括ケアにおける運動療法の役割を再認識する場として、大きな成果を得て閉幕した。

(4) 日本体力医学会 特別大会に協力

- ・開催日：9月2日～4日
- ・開催場所：佐賀大学 本庄キャンパス

第78回日本体力医学会のプログラムに広告協賛した。

(5) 日本臨床運動療法学会学術集会

- ・開催日：9月14日（土）～9月15日（日）
- ・開催場所：京都府立医科大学

合同企画ジョイントセッション

「メディカルフィットネスにおける慢性疾患管理の最長戦略
（実践への展開と課題）」に講師として参加

(6) 日本臨床スポーツ医学会学術集会

- ・開催日：11月16日（土）～11月17日（日）
- ・開催場所：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

シンポジウム：日本メディカルフィットネス研究会合同シンポジウム

「メディカルフィットネスの有用性と健全な施設運営」に講師として参加

[2] 人材育成講習会事業【公益目的事業2 定款第4条第1号、2号、4号、5号】

健康スポーツ指導者のための知識・技能向上、現場での実践的指導に役立つ内容の講習会を実施した。

健康スポーツ指導者が保有している資格の継続更新のための単位取得を兼ねた講習会も実施した。

(1) ウオーキング講習会

「フィットネス・ウオーキング・インストラクター」養成講習会

本講習会では、ウオーキングを安全かつ効果的なフィットネスとして指導できる「フィットネス・ウオーキング・インストラクター」を育成する。

正しい歩行フォームの習得から、姿勢改善、筋力・柔軟性の向上、歩行機能の評価方法、さらには参加者の動機づけや安全管理まで、実技と講義を通じて体系的に学習した。

講師 都留文科大学非常勤講師 依田武雄

- ・開催日：9月18日、11月19日
- ・受講者：合計34名
- ・開催場所：国立青少年オリンピックセンター

(2) 慢性的な痛みや不調を軽減する運動指導プログラム講習会

本講習会は、肩こり・腰痛・膝の痛みなどの慢性疼痛やスポーツ障害に対して有効と

される「SD 理論」に基づいた基礎的な実技を学ぶ初心者向けの講習会を開催した。

「SD 理論」とは、背骨や骨盤を含む体幹の支持性・柔軟性を回復させることで、重
力に負けた姿勢から抜け出し、慢性的な不調の軽減や障害予防を目指すものである。

講習では、現場で簡便に行えるスクリーニング方法と、個々の状態に応じたプログラ
ムの組み立て方を実技を通じて学習した。

講師 理学療法士 門田正久

- ・開 催 日：11 月 25 日
- ・受 講 者：合計 50 名
- ・開催場所：国立青少年オリンピックセンター

(3) 車いすフィットネストレーナー講習会、資格認定

講習会、資格認定実施のための教本編集の協力をした。

(4) 健康運動指導士受験対策模擬試験

- ・期 間：令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月
- ・受講者：合計 25 名、8 大学
- ・希望者に郵送、各自模擬試験実施

(5) 生涯スポーツトレーナー資格認定

会員者数総計：1,278 名

(6) 「フィットネス・ウォーキング・インストラクター」資格認定

- ・時 期：9 月、3 月
- ・認定者：4 名
- ・更新者：11 名

(7) 推奨品認定基準に基づき認定事業を実施

次の商品を推奨品として認定した。

商品名「サントリー GREEN DA・KA・RA」

商品名「Perfect Water」

(8) 保健指導（介護・特定保健指導）

1) 東京都清瀬市介護予防事業の一部受託を 3 カ所で実施した

- ・事業内容：清瀬市の一般介護予防対象者及び要支援認定の対象者に運動セミナーを実施した。

- ・期 間：令和 6 年 5 月～令和 7 年 3 月
- ・対象人数：(20 名×3 カ所) 60 名
- ・開催場所：地域センター 2 か所、団地集会場

2) 千葉県山武市特定保健指導事業の一部受託

- ・事業内容：千葉県山武市の特定保健指導の積極的支援の対象者の運動セミナー

3) 千葉県白井市特定保健指導事業の一部受託

- ・事業内容：特定保健指導グループ支援対象者の運動セミナー

4) 千葉県旭市生活習慣病予防のための運動教室の受託

- ・事業内容：生活習慣病予防教室

5) 千葉県山武郡横芝光町の運動教室の受託

- ・事業内容：ノルディックウォーキング教室

6) 健康保険組合、自治体等への単発の保健セミナーを実施

株)ベネフィットワン

[3] メディカルフィットネス研究会事業

【公益目的事業 3 定款第 4 条第 1 号、2 号、4 号】

(1) メディカルフィットネス・フォーラム 2024 を開催した

(独立行政法人日本スポーツ振興センター助成金活用事業)

当財団は、2024 年 7 月 6 日（土）に「メディカルフィットネス・フォーラム 2024」を東京都江東区・有明セントラルタワーホールにて開催した。

本フォーラムは、医療と運動を融合させたメディカルフィットネスの可能性を共有し、現場における運営・連携・普及モデルを広く紹介することを目的としている。

今年度は過去最大となる約 240 名の参加があり、医師・医療従事者・トレーナー・経営者・指定運動療法施設・健康増進施設・企業等、全国各地から多様な関係者が参集した。

また、メディカルフィットネス関連企業 15 社による展示出展も行われ、最新技術や事例の紹介を通じて会場内は大変活気あるものとなった。

開催概要

日時：2024 年 7 月 6 日（土）10:30～17:00

会場：有明セントラルタワーホール（東京都江東区）

参加者：約 240 名

出展企業：15 社

懇親会参加者：約 100 名

プログラム構成および登壇者

開会挨拶

公益財団法人日本健康スポーツ連盟 理事長 水嶋 章陽

来賓挨拶

元地方創生担当大臣 山本 幸三 氏

会長講演

「健全な現場運営を目指して」

太田 玉紀 氏

(日本メディカルフィットネス研究会 会長／猫山宮尾病院 内科部長)

事例セミナーⅠ

「脳神経クリニック内におけるサーキットトレーニングの有用性」

入江 恵子 先生 (生成脳神経クリニック 院長)

事例セミナーⅡ

「サラヤ株式会社におけるメディカルフィットネスの運営について」

岩田 寛紀 氏 (サラヤ株式会社 フィットネス運営部 課長)

事例セミナーⅢ

「整形外科クリニックのメディカルフィットネス」

瀬戸口 芳正 先生 (みどりクリニック 理事長)

事例セミナーⅣ

「営利法人×医療法人のシナジーにより予防医療の壁を乗り越える」

佐伯 輝明 氏 (株式会社 SHARE 代表取締役)

ランチョンセミナー (3 会場)

A 会場：「メディカルフィットネスから広がるビジネスチャンス」

講師：大森 達也 氏 (PHYSIT 代表取締役)

B 会場：「新時代の Wellness Style」

講師：二階堂 暁 氏

(八王子みなみ野心臓リハビリテーションクリニック 院長)

C 会場：「メディカルフィットネスの立ち上げと運営」

講師：四家 卓也 氏 (株式会社シグマ 執行役員)

実技セミナー

「短時間でできる肩こり&腰痛予防エクササイズ」

齊藤 邦秀 氏 (Wellness Sports 代表取締役)

パネルディスカッション

出演：日本メディカルフィットネス研究会委員・事例講師陣

出展企業（15 社）

- ・テクノジム ジャパン株式会社
- ・株式会社プロティア・ジャパン
- ・株式会社 hacomono
- ・株式会社ドリームゲート
- ・株式会社プロフィットジャパン
- ・株式会社 walkey
- ・株式会社タニタ
- ・株式会社ファンケル
- ・T-CONNECT JAPAN 株式会社
- ・製薬株式会社
- ・日本足病学協会
- ・株式会社 S' UIMIN
- ・株式会社トーカイ
- ・株式会社トレリハ

JMFS（日本メディカルフィットネス研究会）協賛各社

総括

今年度は、異業種との連携や、民間主導型のメディカルフィットネスの事例が多く紹介され、運営の多様性や地域との関係性が浮き彫りとなった。

参加者からは多数の質問や意見が寄せられ、関心の高さと業界の成長可能性を改めて実感した。

(2) メディカルフィットネスセミナー大阪

（独立行政法人日本スポーツ振興センター助成金活用事業）

当財団および日本メディカルフィットネス研究会は、2025 年 3 月 5 日（水）～7 日（金）にインテックス大阪で開催された「メディカルジャパン大阪」内において、メディカルフィットネスをテーマとした特別セミナーを主催した。

本セミナーは、医療法人、運動施設、企業、大学研究者など幅広い分野の登壇者による講演およびパネルディスカッションで構成され、最新のメディカルフィットネスの実践や制度的課題、継続的ケアのあり方などについて多角的に議論されました。

来場者は医療・福祉・フィットネス業界の関係者を中心に、展示会との相乗効果もあり多数の参加を得た。

本セミナーは、健康運動指導士および健康運動実践指導者の登録更新単位講習会としても申請されており、現場実務に即した知見の提供を重視した内容となった。

開催概要

日程：2025 年 3 月 6 日（木）

会場：インテックス大阪

形式：セミナー受講無料（事前申込制）

主催：公益財団法人日本健康スポーツ連盟／日本メディカルフィットネス研究会

協力：RX Japan 株式会社（展示会主催者）

後援：厚生労働省、日本健康スポーツ連盟ほか

登壇者

太田 玉紀（日本メディカルフィットネス研究会 会長／猫山宮尾病院 内科部長）

高木 宜史（医療法人社団つばさ メディカルフィットネス T's Energy トレーナー主任）

西村 貴宏（医療法人はあとふる Eudynamics ヴィゴラス トレーナー 現場責

瀬戸口 芳正（医療法人 MSMC みどりクリニック 理事長）

山中 一功（医療法人一功会 やまなか脳神経外科・内科・リハビリクリニック 理事長）

パネルディスカッション

テーマ：「メディカルフィットネスの実践と未来」

ファシリテーター：田中 尚子（公益財団法人日本健康スポーツ連盟 事務局長）

総括

本セミナーでは、医療機関と連携した運動施設の経営・実践事例から、地域包括ケアにおける役割、研究に基づいたフィットネス支援技術まで、幅広いトピックが取り上げられた。

参加者からは好意的な反応と多くの質問が寄せられ、現場に即した知識や課題解決への示唆を提供できた。

(3) メディカルフィットネスセミナー福岡

（独立行政法人日本スポーツ振興センター助成金活用事業）

当財団は、2024 年 12 月 18 日（水）に福岡市で開催された「SPORTEC 福岡 2024」会場内において、「メディカルフィットネス・指定運動療法施設セミナー」を開催した。

本セミナーは、医療と運動を連携させたフィットネスの可能性を深め、全国の医療従事者・運動指導者・施設関係者に対して、制度活用と実務展開のための最新情報を提供することを目的とした。

本セミナーは、SPORTEC 内で初めて当財団および日本メディカルフィットネス

研究会が主催したものであり、全国から医師、トレーナー、医療従事者、健康増進施設関係者など多数の来場を得ました。会場は満席となり、盛況のうちに開催された。

開催概要

開催日：2024 年 12 月 18 日（水）

会場：マリンメッセ福岡（SPORTEC 福岡 2024 内）

参加者：医療・運動・福祉関連職 約 150 名

主催：公益財団法人日本健康スポーツ連盟／日本メディカルフィットネス研究会

協力：SPORTEC 事務局

プログラム構成および登壇者

【午前の部】

開会挨拶

水嶋 章陽（公益財団法人日本健康スポーツ連盟 理事長）

セミナーⅠ

「メディカルフィットネスの歩みと革新的な進歩」

藤本 浩也（日本メディカルフィットネス研究会 副会長／テクノジム ジャパン HCP 事業部長）

セミナーⅡ

「メディカルフィットネス立ち上げのポイント～医療専門職での差別化戦略～」

四家 卓也（研究会委員／株式会社シグマ 取締役／Medical fitness Re-Birth GM）

事例セミナー①

「透析病院発メディカルフィットネス ～予防医療×運動の融合を目指して～」

澤山 勝也（嶋田病院 リハビリテーション室 室長／メディカルフィットネス FABa pro. 主任）

事例セミナー②

「山口市産業交流拠点におけるメディカルフィットネスの運営実例紹介」

鈴木 英明（メディフィットラボ 支配人／健康運動指導士）

【午後の部】

制度解説

「厚生労働大臣認定 健康増進施設・指定運動療法施設制度について」

赤木 雄介（公益財団法人日本健康スポーツ連盟 事務局次長）

指定運動療法施設 事例セミナー①

「民間総合フィットネスと医療の共創に挑戦する」

江尻 純子（株式会社岡山スポーツ会館 専務取締役／医師・糖尿病専門医・健

康運動指導士)

指定運動療法施設 事例セミナー②

「医療法人が運営する指定運動療法施設としてのチャレンジ」

前川 宏治 (医療法人泰整会 メディカルジム VIVID 統括トレーナー／健康運動指導士)

パネルディスカッション

登壇者全員によるセッション

ファシリテーター：田中 尚子 (公益財団法人日本健康スポーツ連盟 事務局長)

総括

セミナーでは、制度活用事例や現場の運営戦略、医療とフィットネスの融合における課題と可能性が多角的に議論され、参加者からは多数の質問と反響が寄せられた。今後の制度普及と運用の実践的ヒントが詰まった内容となり、登壇者の経験に基づいたリアルな発信は高く評価された。

総 務 報 告

1.評議員会

第 1 回定時評議員会(現地と Web の複合同時開催)

- (1) 日 時 令和 6 年 6 月 25 日
- (2) 場 所 浅草区民会館 5 階 D 室
- (3) 評議員 出席 7 名、欠席 3 名
- (4) 議 題 (議決事項)
第 1 号議案 令和 6 年度事業報告書並びに財務諸表承認の件

2.評議員の状況

評議員：10 名 令和 7 年 3 月 31 日現在

	氏名	所属先等
1	吉田 進	株式会社パワーハウス 代表取締役
2	師岡 文男	上智大学名誉教授
3	中島 喜代彦	九州医療スポーツ専門学校 相談役
4	石川 明	石川明デザイン研究所 代表
5	西村 淳	株式会社富士情報デザイン
6	森 祐章	株式会社MOTO&i 取締役
7	野本 恵子	野本歯科医院 副院長
8	竹内 祐輔	日本建物株式会社
9	西原 達次	公立大学法人九州歯科大学 理事長・学長
10	久野 和禎	コンウェイ株式会社 代表取締役社長

3.理事会

第1回定時理事会

- (1) 日 時 令和6年6月3日
- (2) 場 所 共和会館 4階B室
- (3) 理 事 出席8名、欠席5名
- (4) 議 題 (議決事項)

第1号議案 令和5年度事業報告書並びに財務諸表承認の件

第2号議案 定時評議員会の開催承認の件

その他 令和6年度事業進捗状況

第2回定時理事会

- (1) 日 時 令和7年3月25日
- (2) 場 所 書面による決議
- (3) 理 事 出席10名、欠席3名
- (4) 議 題 (議決事項)

第1号議案 令和7年度事業計画および収支予算について

第2号議案 推奨品規程の一部改訂

その他 令和6年度事業進捗状況の報告

4.役員の状況

理事：13名、監事：3名 令和7年3月31日現在

	役職	氏名	所属先、勤務先等
1	会長	柳澤 伯夫	元厚生労働省大臣 柳澤金融経済研究所
2	理事長	水嶋 昭彦	学校法人 国際志学園 理事長
3	副理事長	赤木 恭平	日本オリンピック委員会 名誉委員
4	副理事長	石川 晋	元文部省 文部大臣官房 審議官
5	専務理事	田中 尚子	公益財団法人日本健康スポーツ連盟 事務局長
6	常務理事	三浦 政基	元日本プロ野球OBクラブ 副会長
7	理事	衛藤 幸司	公益財団法人日本健康スポーツ連盟

8	理事	月岡 泰志	株式会社 I E A 会長
9	理事	佐伯 聰夫	筑波大学名誉教授
10	理事	安達 宣郎	元トップリーグ連携機構 常務理事
11	理事	小林 秀宏	元公益財団法人日本健康スポーツ連盟
12	理事	大川 博己	元北九州市 特命理事
13	理事	中尾 尚志	元公益社団法人日本ボディビルフィットネス連盟 副会長
1	監事	藤岡 秀樹	藤岡秀樹法律事務所 弁護士
2	監事	太田 諭哉	公認会計士、税理士
3	監事	奥村 眞吾	奥村税理士事務所 代表

5.監事監査

- (1) 監査人：藤岡秀樹監事、太田諭哉監事、奥村眞吾監事
- (2) 日 時：令和 6 年 5 月 29 日
- (3) 監 査 内 容：令和 5 年度事業の執行および決算に関して

6.職員の状況 令和 7 年 3 月 31 日現在

田中尚子、衛藤幸司 職員数 2 名

(別表) 1. 令和 6 年度 健康増進施設の新規および更新施設リスト

令和 6 年度 厚生労働大臣認定健康増進施設 新規認定施設一覧		
No.	施設名	施 設 の 所 在 地
1	MEDICAL FITNESS 札幌平岡	北海道札幌市
2	佐賀市健康運動センター	佐賀県佐賀市
3	Body Make Studio Salus 目黒店	東京都品川区
4	アベメディカルスポーツジム	福岡県福岡市
5	リバティヒルクラブ	東京都目黒区
6	医療法人養和会メディカルフィットネスセンターCHAX	鳥取県米子市
7	Medifit NeuroWellness	大阪府大阪市
8	大津市富士見市民温水プール スポック富士見	滋賀県大津市
9	Doctor's Fitness Studio	大阪府茨木市
10	メディカルフィットネス ペガフィット	静岡県焼津市
11	医療法人社団八千代会 メリィ・メディカルフィットネス	広島県広島市
12	PERSONAL TRAINING GYM SUNNYPLACE	東京都中野区
13	WOW'D PLUS kiyotake	宮崎県宮崎市
14	メディカルフィットネス オキシウムパーソナルジム	東京都台東区
15	MEDICAL FITNESS 札幌平岸	北海道札幌市
16	MEDICAL FITNESS 札幌菊水	北海道札幌市
17	トレリハCLUB	北海道札幌市
18	神戸みなと温泉 蓮	兵庫県神戸市
20	マリエフィットネスクラブ	広島県広島市
21	メディカルフィットネス ロコパーク	新潟県新潟市
22	メディカルフィットネスPLUS10	京都府長岡市

23	Rifgym	東京都渋谷区
24	エターナルフィット円山	北海道札幌市
25	ReXeR OSAKA	大阪府大阪市
26	西知多医療厚生組合健康増進施設 アクアマリンプラザ	愛知県知多市
27	医療法人慶友会 健康増進施設 K-FIT.	茨城県守谷市
28	フィットネススタジオ Light Body NEO	三重県志摩市
29	Medical Fitness Plus S	千葉県四街道市
30	Medical Fitness SHAFT	埼玉県入間市
31	かたぎり塾 町屋店	東京都荒川区
32	フィットネスクラブ コ・ス・パ京都リサーチパーク 24	京都府京都市
33	フィットネスクラブ コ・ス・パ長岡京	京都府長岡京市
34	フィットネスクラブ コ・ス・パ二条 24	京都府京都市
35	フィットネスクラブ コ・ス・パ松井山手 24	京都府京田辺市
36	フィッタ広島	広島県広島市
37	メディカルフィットネス Orange Wellness	福島県郡山市
38	スポーツクラブ コ・ス・パ桃山六地藏 24	京都府京都市
39	スポーツクラブ FLEX	長野県飯田市
40	トランスフォーム太陽	山口県萩市

令和6年度 厚生労働大臣認定健康増進施設 更新施設一覧		
No.	施設名	施 設 の 所 在 地
1	フィットネスクラブ ウイング三沢	青森県三沢市
2	ATLAS FITNESS&HOTSPRING	茨城県水戸市
3	住友不動産エスフォルタ株式会社 六本木店	東京都港区
4	住友不動産エスフォルタ株式会社 赤坂店	東京都港区
5	住友不動産エスフォルタ株式会社 市ヶ谷店	東京都新宿区
6	住友不動産エスフォルタ株式会社 渋谷店	東京都渋谷区
7	疾病予防施設メディカルフィットネスセンタープラム	東京都青梅市
8	住友不動産エスフォルタ株式会社 横浜店	神奈川県横浜市
9	郡上市総合スポーツセンター	岐阜県郡上市
10	静岡県総合健康センター	静岡県三島市
11	東郷町 町民交流拠点施設 イーストプラザいこまい店	愛知県愛知郡東郷町
12	Doctor's Gym 下関	山口県下関市
13	スポーツクラブリフレ新宮	福岡県糟屋郡新宮町
14	健康増進施設 Pitch	佐賀県鳥栖市
15	県民健康プラザ健康増進センター	鹿児島県鹿屋市

(別表)2. 令和6年度 指定運動療法施設の指定施設リスト

令6年度 指定運動療法施設指定一覧		
No.	施設名	施 設 の 所 在 地
1	メディカルフィットネス M-bodyStudio	愛知県名古屋市
2	芦屋プレミアム・リハビリテーション苦楽園院	兵庫県西宮市
3	あさぶハート・メディカルフィットネス	北海道札幌市
4	メディカルフィットネス リ・バース 町田店	東京都町田店
5	オーバルスポーツコム円山	岡山県岡山市
6	LIB	大阪府大阪市
7	MEDICAL FITNESS 札幌平岡	北海道札幌市
8	RADY Functional GYM	兵庫県明石市
9	佐賀市健康運動センター	佐賀県佐賀市
10	Medifit Neuro Wellness	大阪府大阪市
11	PERSONAL TRAINING GYM SUNNYPLACE	北海道札幌市
12	メディカルフィットネス オキシウムパーソナルジム	東京都台東区
13	MEDICAL FITNESS 札幌平岸	北海道札幌市
14	MEDICAL FITNESS 札幌菊水	北海道札幌市
15	医療法人養和会 メディカルフィットネスセンターCHAX	鳥取県米子市
16	神戸みなと温泉 蓮	兵庫県神戸市
17	メディカルフィットネス ロコパーク	新潟県新潟市
18	Rifegym	東京都渋谷区
19	エターナルフィット円山	北海道札幌市
20	リバティヒルクラブ	東京都目黒区
21	WOW'D PLUS kiyotake	宮崎県宮崎市

22	RexeR OSAKA	大阪府大阪市
23	医療法人社団八千代会 メリィ・メディカルフィットネス	広島県広島市

事業報告の附属明細書

(令和6年度)

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

公益財団法人日本健康スポーツ連盟

東京都台東区浅草橋4-9-11 大黒ビル3階

令和 6 年度 事業報告の附属明細書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

令和 6 年度の事業について、事業報告の附属明細書に記載する事項は特にありません。